

令和6年度
決算

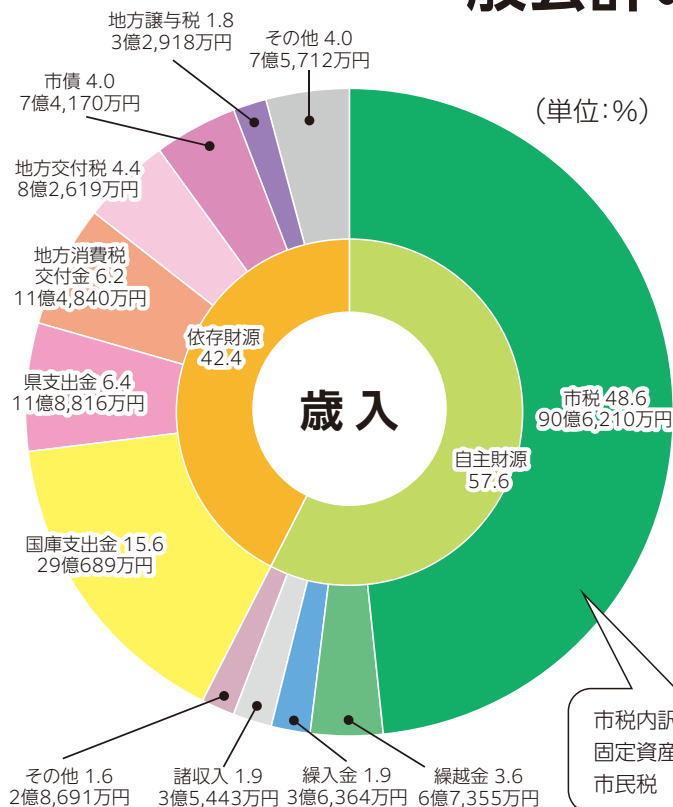
財政構造の硬直

一般会計の決算額

歳入

186億3,831万円

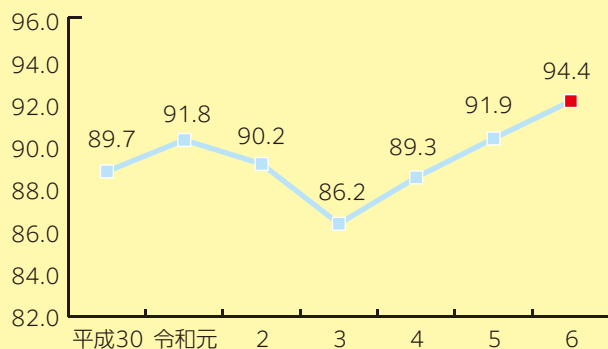
歳入は、186億3,831万円で3.6%増加しました。市税収入の決算額は90億6,210万円で、前年度比0.6%増加しました。物価高騰の影響がある中、純固定資産税が1億111万円、法人市民税が9,918万円増加し、市税全体では5,629万円の増収が確認されています。



市税内訳	市たばこ税	3億1,780万円
固定資産税	軽自動車税	1億2,949万円
市民税	入湯税	132万円

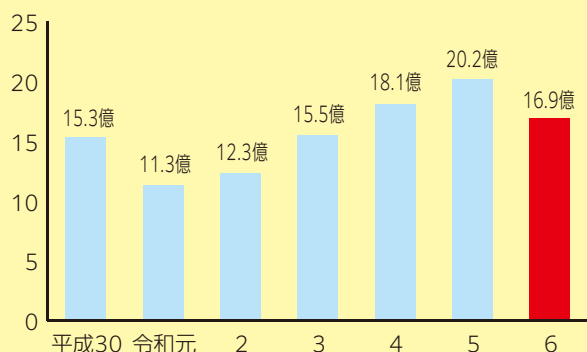
経常収支比率

経常収支比率は、自治体の収入に対する経常的な支出の割合を示す指標で、比率が高いほど新しい事業に使える財源が少ないことを意味する。



財政調整基金

地方公共団体の健全な財政運営を確保するために設置した積立金で、地方公共団体の貯金であり、経済事情の変動などによる減収、災害により生じる予期せぬ支出・減収を埋める時や緊急性の高い大規模な事業の経費に充てることとしている。



主な財政指数の推移